

あか牛のとってもステ～キな給食

蘇陽中学校区学校支援協議会(山邊康弘会長)から、蘇陽地区の小中学校に「あか牛肉」が提供されました。これは、地元畜産のPRをして消費拡大や後継者育成につなげるとともに、コロナ禍の中で頑張る地域の子どもたちを元気づけるために行われた取り組みです。(一財)全日本あか毛和牛協会と蘇陽畜産部会が協力。10月20日には、蘇陽小学校の全クラスで、「あか牛」を題材にした地産地消についての授業が開催され、その後の給食で「あか牛肉の牛丼」が登場しました。

丼にたくさんのお肉が入った給食を食べた子どもたちは「柔らかくておいしい」と目を輝かせていました。

「あか牛給食」は22日に蘇陽南小、29日には蘇陽中学校でも提供されました。



民生委員児童委員協議会全体会が開催されました

10月19日、蘇陽総合行政センターにおいて山都町民生委員協議会全体会が開催されました。今回の全体会は、介護予防に関する講演と各専門部による協議が行われました。

講演は、(株)コクアから久米野さんをお迎えし、簡単にできる介護予防運動について実践を交えながら話され、ユーモアあふれる話しぶりに参加された委員も楽しい雰囲気の中、充実した時間を過ごしていました。

また各専門部の協議では、これまでの取り組みについての総括や今後の計画等が話し合われました。



(株)コクア 久米野さんによる講演の様子

オールドカーフェスタ そよ風パークにて2年ぶりの開催

10月17日、車好きの仲間組織したチーム蘇陽 Old car family club & fermers(代表:興梠博治さん)が中心になって、昨年はコロナウイルスまん延防止のため中止した「オールドカーフェスタ」を、本年は規模を縮小し感染対策を施して開催されました。

九州各県から、オールドカーのオーナー190人がエントリーした会場は、20世紀代の懐かしい名車が集まり旧車ファンを喜ばせました。

また、自動草刈り機の実演や重機を使ったゲーム、じゃんけん大会なども開催され、町内の飲食店からの出店なども有り、来客者の約600人を楽しませました。



青少年健全育成啓発グッズを贈呈

10月7日、役場本庁において、青少年健全育成・薬物乱用防止キャンペーンの一環として、山都ライオンズクラブ(武元典雅会長)から町内3中学校へ、違法薬物禁止啓発チラシとマスク3千枚が贈呈されました。武元会長は、「近年、全国的に若者を中



心とした大麻の乱用拡大が問題になっています。大麻等の薬物に手を出すことは大変危険であることを知ってもらいたい」と訴えました。



啓発グッズの贈呈式
山都ライオンズクラブの田辺成一副会長(右)・武元典雅会長(右から2番目)、町内三中学校長

高校生が子ども食堂の活動に参加

交流スペース「山都ふらっと」(浜町)で開催されている「子ども地域食堂」の活動に矢部高校生が参加しています。

10月19日に同スペースで行われたお弁当づくりに参加したのは、同校の食農科学科の生徒たち。子ども地域食堂の藤本千代美さんに子ども食堂の取組について講演いただいたことが活動参加のきっかけとなりました。夏休みには学童保育へ食事の提供も行いました。



第35回 上益城郡中学校対抗駅伝大会

10月15日、上益城郡中学校対抗駅伝大会が旧朝日小学校周辺で開催されました。

郡内の中学校から男子11チーム、女子10チームが出場、雲一つない晴天に恵まれ、選手たちは健脚を競いました。沿道からは保護者や地域の人たちの暖かい声援が送られました。

男子の部では蘇陽中学校が3位、女子の部では矢部中学校が3位入賞と素晴らしい記録を残しました。



宝くじ助成事業で整備しました!

今公民館は、コミュニティ助成事業の一般コミュニティ助成事業により、パソコンやプロジェクター、スクリーン、会議用テーブル・イス、物置などを整備されました。

本事業は、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に地域のコミュニティ活動の充実、強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的として実施されています。今回の整備により、今公民館のさらなる活動の活性化が期待されます。



岩手大学准教授ら、「南郷檜の森(蘇陽地区東竹原)」を視察

9月25日、蘇陽地区東竹原に位置する「南郷檜の森」に、岩手大学農学部准教授らが訪問されました。「防災・減災を目的とした森林整備」が実施されている森林の視察のためです。視察では、熊本県指導林家である栗屋克範さんによる現地説明及び50年生・100年生の森林の見学が行われました。

視察中、「丁寧に間伐した森林では、樹冠が大雨をしっかりと受け止め、雨水は幹を伝って流れる。雨水は地面を直接打たない。」「50年生の南郷檜で2m程度根を張る。100年生だともっと根を張り、地面を固定してくれるだろう。」「山は、山主の姿勢でどの様にも変わる。山を荷物に思うか、手塩にかけて育てるか。林業の根幹は継続だと思う。」などといった説明が栗屋さんによって行われました。

視察された先生方は、「丁寧な森林管理が森林の機能を大きく高めることを実感した。今後、調査でその効果を科学的に明らかにしていきたい。」と話されました。



山都町地域おこし協力隊活動だより vol.2



【自己紹介】

氏 名：緒方 弘臣（おがた ひろおみ）
「泳いで漕いで走る地域おこし協力隊」
出 身：福岡県
特 技：マラソン・トライアスロン
活動場所：NPO法人丸山ハイランド



縁がわカフェ（丸山ハイランド）

前職は、通信関係・まちづくり関係の仕事をしていました。

丸山ハイランドのふれあい農園づくりを通じて、知的障害者の自立支援・地域産業の振興を通じての次世代の育成、都市と農村の交流を通じた新しい地域づくりに取り組むという事業趣旨に共感して地域おこし協力隊に応募しました。現在は、ふれあい農園づくり・収穫体験の企画実施、縁がわ事業の企画・運営を行っています。

今後も、独特の自然・伝統文化を情報発信し交流人口・関係人口の拡大と、地域資源を生かした特産品の開発やイベントの企画に取り組み、地域振興を図っていきたくと考えていますので、イベント開催の際は、ぜひ、丸山ハイランドへお越しください。

丸山ハイランドの活動状況を Facebook 及びブログサイトでも情報発信していますので、ぜひこの機会に、ご覧ください！

丸山ハイランド FB (<https://ja-jp.facebook.com/maruyamaHL/>)
下名連石地区の地域情報の発信 下名連石地区地域ブログ
(<https://blog.goo.ne.jp/shimonareishi>)



里芋掘り体験